



上/2階の子ども部屋は、収納棚を挟んでグリーンとサーモンピンクに壁を塗り分けた。ロフトをつかって、空間を有効活用 右下/サニタリーからウォークインクローゼットに通り抜けられるなど、動線を考えた間取り。身じたくもしやすい 左下/青いタイルが印象的なサニタリーは、設計を依頼した「コナラハウス」のショールームを見に行き、すっきり気に入り、同様のものをリクエスト。壁も同色に塗り、ブルーのさわやかな空間に



右/どこかに使いたかったというカラフルなタイル。1階トイレの手洗いボウル奥の壁面に張り、目を引くコーナーに 中/ダイニングテーブルの上には「フレイルム」の照明を色違いでバランスよく下げた。ラウンジと呼ぶリビング部分は、一段床を上げて無垢のフローリングに 左/リビングの奥にはテーブルを設置して書斎コーナーに。今は、手前が生まれたばかりの娘さんのベビーベッド置き場になっている



外壁は木材の薄い板を少しずつずらして重ねる「シングル張り」という工法。ナチュラルな雰囲気が周囲の森の景観にもなじむ



**Data**

家族構成/ご主人、奥さま、長男(3歳)、長女(3カ月)  
 住居形態/戸建て  
 間取り/3LDK  
 敷地面積/140.54㎡(42.51坪)  
 建築面積/46.37㎡(14.03坪)  
 床面積/1F 46.37㎡(14.03坪)  
 2F 46.37㎡(14.03坪)  
 合計 92.74㎡(28.05坪)  
 設計・施工/コナラハウス  
<http://www.konarahouse.jp>

About Nagata's Home

● **住まいにこだわった**  
 ふたりがこだわったキッチン設備や機能を削らずに、予算内で実現すること。断熱性能にこだわって、冬はあたたかく夏は涼しい空間をつくること。

● **自分たちのライフスタイルを大切にする**  
 人を招いて暮らすように、キッチンを主役にした家にしたという希望が叶えられました。1階は玄関からすぐキッチンにつながる間取りにして、プライベートな生活空間は2階にまとめました。

● **自然を満喫できること**  
 森の中の家で、自然を満喫できることです。子どもが思い切り外を駆け回って遊べますし、農家から直接購入する採れたて野菜もとてもおいしいです。

● **家族のなかで、どう役割を分担しているか**  
 人が遊びに来てキッチンでわいわいしているときが楽しいです。今は子どもが小さいので、1階で子どもを面倒を見たり、一緒に遊んだりしている時間もとても幸せです。

● **お気に入りのインテリア**  
 やはり夫婦の身長や好みに合わせて作ったキッチン。デザインも機能も満足しています。

● **お気に入りの家具**  
 オープンが気に入っています。収納とも体化していて、見た目がすっきりしているのもポイントです。

● **住まいのメンテナンス**  
 今のままで満足していますが、子どもが小さいので家が散らかりがち。成長とともにおもちゃや子ども用の道具を減らして、すっきりした見た目の空間にしたいと画っています。

壁面は淡いグレーにペイントしあたたかみのある空間が完成



**断熱性を高め快適な住空間に**  
 省エネ住宅に補助金が出ることもあって、断熱にこだわった家に。右/窓はスウェーデン製のトリプルサッシ「エリートフェスター」。壁は二重に断熱材を使用した。左/全館空調システムのおかげで冬は1階の床暖房だけで家全体があたたかい。冷房機能も持たせている



1階すべてを見渡せる位置にアイランドカウンターを設置

ダイニングテーブルに向けたカウンターなら、料理をしながらも会話が弾む。ミニシンクをつけたので、ふたりで作業するときも便利

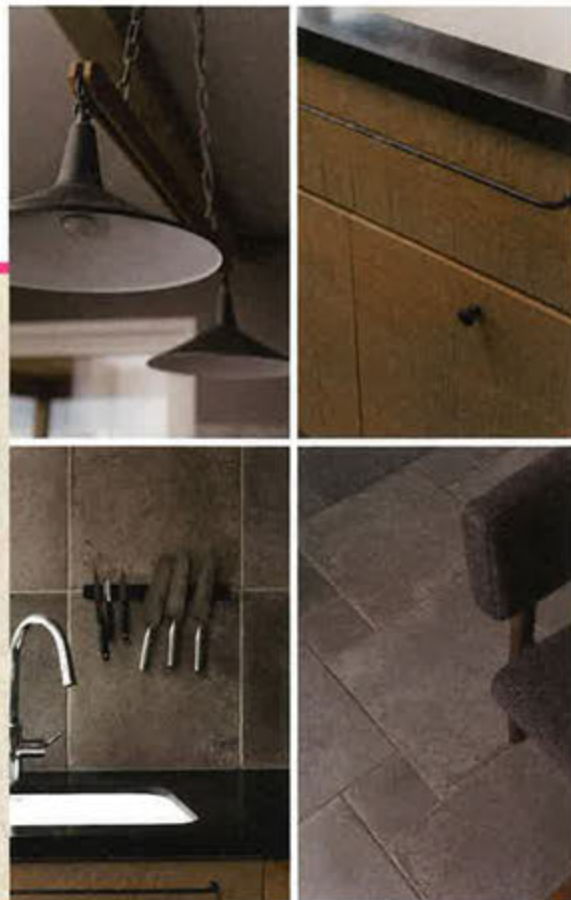
玄関への開口部。右が玄関で、反対側には収納力たっぷりのパントリーを設置し、キッチンからすぐ食材を取りに行けるように



Point

グレーを中心に大人っぽいディテールに

上右/オーク材の表面をザラツとした手触りが残る仕上げにし、薄くグレーの塗料を塗ったキッチン本体。アイアンの取っ手はシンプルなデザインをチョイス。上左/1階のペンダントライトはすべて「フレイルム」で統一。キッチンカウンターの上下は木材を間に渡し、2つ違ったデザインに。食はタークグレーのものを選んだ。下右/床は色ムラのあるグレーのタイルを大小組み合わせた。温水式の床暖房で、冬は満足で歩いてもいいほどの心地よさ。下左/壁は床材と同じイタリア製タイル。ナイフ類は手に取りやすいよう、磁石で壁収納に



## キッチンを中心にしたコミュニケーションの弾む空間

Area 神奈川県 Name 永田さん

Case 05



大きなテーブルを置いた、大人数が集えるダイニングキッチン。床はイタリア製タイル。床暖房を採用しているので冬はあたたかく、夏は満足に心地いい

こだわりのキッチンで夫婦ともに好きな料理やホームパーティーを楽しむ

夫婦がともに料理が大好きという永田さんは、人を招くことを前提に家づくりをしました。1階は玄関のすぐ横がキッチンとダイニング、奥の一段高くなったリビングは食後にくつろぐことを考え、「ラウンジ」と呼んで使っています。快適さにもこだわり、全館空調を採用して1階は全面に床暖房を設置しました。断熱性能が高い建材を使って環境に配慮した家は、冬でも心地良いあたたかさです。

キッチンは、作業台の高さから引き出しの数や形まで悩んで決めたもの。設備はどのメーカーにするか、水栓金具にはどんな機能を求めるかなど、さまざまなショールームを回って厳選しました。オークの無垢材を使ったキッチン本体には黒の御影石のワークトップを組み合わせ、奥さまこだわりの「ミール」のオープンシェルフとフラットになるように造作した収納にセット。家具や家電を置く無駄を減らして空間をすっきり仕上げました。

キッチンの大きな窓からは周囲の森を見渡すことができ、ふたりともにここに立つて景色を見ながら料理するのが何よりの楽しみ。2人目の子どもが生まれて忙しい毎日ですが、毎週のようにパンを焼き、友人や隣家の人々を招いてのホームパーティーも頻繁に行います。こだわりのキッチンを中心に、得意の料理で人々と交流する暮らしを楽しんでいます。